

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	渋谷美容専門学校
設置者名	学校法人東京女子文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	美容科		73 単位 (2190 時間)	67 単位 (2010 時間)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 (https://shibuyabiyo.ac.jp/history/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	渋谷美容専門学校
設置者名	学校法人東京女子文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所にて閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	印刷会社社員	2024 年 4 月 ～2028 年 3 月	組織運営体制への チェック機能
非常勤	美容師	2024 年 4 月 ～2028 年 3 月	授業、活動の効果の 測定
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	渋谷美容専門学校
設置者名	学校法人東京女子文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 美容科 昼間部(2 年制)	
【作成について】 学則に基づき授業を担当する者および技術部責任者が時間割を作成している。 シラバスについては各授業の担当が必要時間数、担当教員名、授業到達目標、講義概要、成績評価方法など全課目共通で閲覧ができ、学校内統一で行っている。 【時期について】 毎年 10 月～翌年 1～2 月に技術部の責任者が作成し、各担当に最終確認後、教員室・事務所で授業計画を見ることができる。	
授業計画書の公表方法	「時間割・時間数表」を事務所・職員室・教室掲示
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
成績評価は 1、2 年次前期・後期実技および学科期末試験を受け、100 点満点中 60 点以上を合格としている。 法定履修時間を満たしていない者は、成績が合格点であってもその成績評価の対象としない。 評価結果は毎年 2 月に行う成績会議を行い校長主宰の卒業、修了判定会議において協議、認定をしている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPAを作成している(100-90=4、89-80=3、79-70=2、69-60=1、59以下は0と追再試験を行う。 当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。 成績評価方法については、入学時オリエンテーションにて入学生等に通知している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	『客観的な指標の算出方法』として、学校内各教室に掲示
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 美容業界の知識および技術などを専門的に授け職業に就き得ると同時に一般社会生活に寄与し、知識及び技術を通じて人間性の向上を図ることを目的としている。 美容科において定める所定の全授業科目の修了をもって、本校が目的とする人材であることを認定する。 卒業要件は、美容科が定める所定の全授業科目を年次にて全て合格することであり、入学時のオリエンテーションで校則を配布し学生に周知している。 卒業認定は、毎年2月に行う成績会議を行い校長主宰の卒業、修了判定会議において協議、認定をしている。 学則第15条に記載の校長は教育課程の定めるところにより、各学年に修了すべき学科について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。 学則第16条の本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	『卒業認定に関する資料』として学校内各教室に掲示

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	渋谷美容専門学校
設置者名	学校法人東京女子文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所にて閲覧可能。
収支計算書又は損益計算書	事務所にて閲覧可能。
財産目録	事務所にて閲覧可能。
事業報告書	事務所にて閲覧可能。
監事による監査報告（書）	事務所にて閲覧可能。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容科	専門コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2010 時間/67 単位 (総時間数 2190 時間／ 73 単位)	570 時間 /19 単位		1620 時間 54/単位			
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		75 人	0 人	8 人	3		11	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）関係法規・制度、衛生管理、保健、香粧品化学、文化論、美容技術理論、運営管理、美容実習、色彩学、国家試験演習、ヘアメイク概論、サロンワーク総合Ⅰ、サロンワーク総合Ⅱ、サロンワーク総合Ⅲ、対人コミュニケーション 様式第 2 号の 3 の 1 の記載内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）学科および実技共に 60 点以上で合格、59 以下は追再試験を行う 様式第 2 の 3 の 3 の記載内容を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）1050 時間以上出席、学科および実技試験 60 点以上であれば進級、2010 時間以上出席、学科および実技試験 60 点以上で卒業 様式第 2 の 3 の 4 の記載内容を参照	
学修支援等	

(概要) 担任制である。担任教員が出席状況、課題提出状況などを把握し、学生とのコミュニケーションを細かく取るようにしている。資格取得に関しては対策講座を行い指導体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	0 人 (0%)	32 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室・美容部員			
(就職指導内容) 面接練習は校長、就職担当、担任などが行い、いつでも相談が可能である。 サロン説明会など実施をして直接就職側とお話しができる機会を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 化粧品検定・色彩検定・パーソナル検定・JNA ネイル検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	3 人	4%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、体調不良、人間関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任の面談・学生相談室の面談し、学生個々に応じた指導を実施している		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容科　メイク＆ネイルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2010 時間/67 単位 (総時間数 2190 時間／ 73 単位)	570 時間 /19 単位		1620 時間 54/単位		
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		91 人	0 人	9 人	4 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）関係法規・制度、衛生管理、保健、化粧品化学、文化論、美容技術理論、運営管理、美容実習、色彩学、国家試験演習、ヘアメイク概論、対人コミュニケーション、ヘアメイク総合Ⅰ、ヘアメイク総合Ⅱ、ヘアメイク総合Ⅲ 様式第 2 号の 3 の 1 の記載内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学科および実技共に 60 点以上で合格、59 以下は追再試験を行う 様式第 2 の 3 の 3 の記載内容を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 1050 時間以上出席、学科および実技試験 60 点以上であれば進級、2010 時間以上出席、学科および実技試験 60 点以上で卒業 様式第 2 の 3 の 4 の記載内容を参照	
学修支援等	
（概要） 担任制である。担任教員が出席状況、課題提出状況などを把握し、学生とのコミュニケーションを細かく取るようにしている。資格取得に関しては対策講座を行い指導体制を整えている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47 人 (100%)	0 人 (0%)	47 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室・美容部員・ネイルサロン・まつ毛サロン			
(就職指導内容) 面接練習は校長、就職担当、担任などが行い、いつでも相談が可能である。 サロン説明会など実施をして直接就職側とお話しができる機会を実施している。			

(主な学修成果（資格・検定等）) 化粧品検定・色彩検定・パーソナル検定・JNA ネイル検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91 人	12 人	13%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、体調不良、人間関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任の面談・学生相談室の面談し、学生個々に応じた指導を実施している		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
美容科 専門コース	150,000 円	420,000 円	735,700 円	
美容科 メイク＆ ネイルコース	150,000 円	420,000 円	735,700 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所にて閲覧可能。		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 学生満足度の向上、進路指導満足度の向上を目標とする。評価項目は、教育理念・目的・育成人材像、学校運営、教育活動、学修成果など。卒業生による体制で運営される。評価結果は、技術部主任を中心に、早急に改善に向けた方針を模索する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容室	2024 年 4 月～2028 年 3 月	卒業生
美容室	2024 年 4 月～2028 年 3 月	卒業生
美容室	2024 年 4 月～2028 年 3 月	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所にて閲覧可能。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページに掲載 <https://shibuyabiyo.ac.jp/history/>